

Press Release 2019年2月21日（木）正午

ECSA

Entertainment Committee for STADIUM・ARENA

2019年2月21日 Press Release

スタジアム・アリーナのより良い未来を創造する 新団体 -ECSA（エクサ）- 設立

ごあいさつ

2019年3月、
一般社団法人 日本トップリーグ連携機構（会長 川淵三郎）および
一般社団法人コンサートプロモーターズ協会（会長 中西健夫）は、
【一般社団法人 Entertainment Committee for STADIUM・ARENA（ECSA/ エクサ）】
を新たに設立します。

昨今、東京オリンピック・パラリンピックをはじめ国際スポーツイベント開催が増加し、
各種スポーツ競技・音楽ライブのスタイルが多様化する中、
スポーツと音楽にとって共通施設であるスタジアム・アリーナの充実に
期待が高まっています。

ECSA（エクサ）は、スポーツ界とライブ・エンタテインメント界とが
スタジアム・アリーナの建設と運営に関して互いのノウハウを集積することで、
利用者と来場者の利便性に富んだ“永く地域社会に愛される施設の在り方”を提案し、
競技力やコンテンツ価値の向上と地域経済の活性化、
国民のクオリティ・オブ・ライフの向上に貢献する未来を目指します。

【新団体の概要（予定）】

- ・団体名 一般社団法人 Entertainment Committee for STADIUM・ARENA（略称：ECSA（エクサ））
- ・設立時代表理事
 - 会長 川淵三郎（一般社団法人日本トップリーグ連携機構会長）
 - 副会長 中西健夫（一般社団法人コンサートプロモーターズ協会会長）
- ・設立時社員
 - 一般社団法人日本トップリーグ連携機構
 - 一般社団法人コンサートプロモーターズ協会

※なお新団体の事務局発足は設立総会の後、4月上旬を予定しております。追ってご案内申し上げます。

ECSA

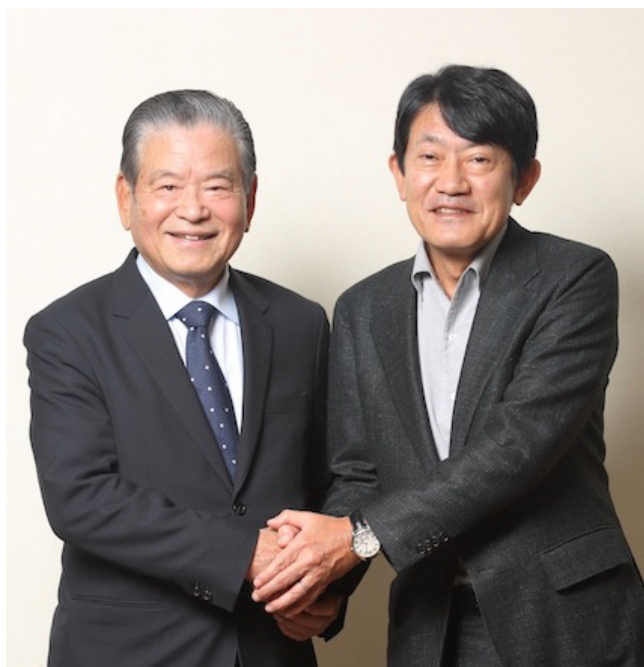
ECSA（エクサ）設立の背景

『スポーツ界』と『ライブ・エンタテインメント界』を牽引する
2人の熱い想いがクロスした

もっと貪欲に、もっと本気で、スタジアム・アリーナのさまざまな楽しみ方を考えてみたい。

東京オリンピック・パラリンピックが迫る今、全国で相次ぐ改修や新設など、
スタジアム・アリーナの状況にも大きな変化が訪れている。

効率的で収益性の高いエンタテインメント施設を目指すためには、
これまで別々に活動してきた『スポーツ界』と『ライブ・エンタテインメント界』が手を組み、
双方のノウハウを活かしていくことが、大きな一歩となる。



(左) 一般社団法人 日本トップリーグ連携機構会長 川淵三郎
(右) 一般社団法人 コンサートプロモーターズ協会会長 中西健夫



川淵三郎(かわぶち さぶろう)

一般社団法人 日本トップリーグ連携機構会長
公益財団法人 日本サッカー協会相談役

大阪府出身。早稲田大学在学中にサッカー日本代表に選出。日本代表監督などを経て、
1991年Jリーグ初代チェアマン、2002年日本サッカー協会会長に就任。
2015年より日本トップリーグ連携機構会長を務める。



中西 健夫(なかにし たけお)

一般社団法人 コンサートプロモーターズ協会会長
株式会社 ディスクガレージホールディングスグループ代表

京都府出身。1981年にディスクガレージに入社。1997年に同社代表取締役社長に就任。
後2018年にディスクガレージホールディングスを設立し、同グループ代表に就任。
2012年よりコンサートプロモーターズ協会会長も務める。同年のライブ・エンタテインメント議員連盟設立後は、コンサート会場不足への問題提起や、2018年12月のチケット高額転売規制法の議員立法成立において、中心的な役割を担った。

～ECSA(エクサ)設立記念対談より(2019年2月)～



一般社団法人 コンサートプロモーターズ協会会長 中西健夫

音楽とスポーツは、常に対にあるはずのものなのですが、なぜかスタジアム・アリーナを作ることや、その利用についてはこれまで別々にやってきた。でも、それはおかしいのではないかと考えていて、同じエンタテインメント業界として協力しましょうと。たとえば NFL の Super Bowl は、アメリカ最大のスポーツと最高の音楽が、同じ場所で1日に体験できます。日本にはそういうものがありませんよね。

日本で最も注目される試合に最も人気のあるアーティストが出て、双方がそれを「名誉だ」と言い合えるエンタテインメントショー。そういったものを作りたくても、そんな話をする場もありませんでした。

これから誕生するスタジアム・アリーナ運営は、コンセッション方式(※)が望ましいと思っています。地方に行けば行くほど、それが難しいのはわかるんですが、なぜそのほうがいいのかをECSAが啓蒙していく。ライブをやればいい、スポーツをやればいいではなく、そこまで一緒にできる組織体が夢なんです。

※施設の所有権を公共主体が有したまま、施設の運営権を民間事業者に設定する制度



一般社団法人 日本トップリーグ連携機構会長 川淵三郎

それぞれの競技団体が独立独歩なので、同じアリーナを使う立場であっても、音楽業界と話し合う発想自体がなかったと思います。それが今回、こういう機会を得られ、いかにうまくアリーナを使うか、お客さんをどうやって呼ぶのか、そのノウハウを音楽業界から学ぶことができるのはいいことです。(長期的展望に立ったスケジュールのあり方やチケットの売り方、来場者に対して前もって試合があると知らせることのプラス面)

スタジアム・アリーナを作る場合、スポーツの専門家やその周辺の人だけで設計していると、「少し計画を変更するだけで、イニシャルコストもそれほどかけずに音楽イベントに対応したものができるといったことがわからない。だから、まずは ECDSA としての「理想的なスタジアム・アリーナ像」をまとめて、関係者の皆さんの理解を得ながら、計画が進んでいる案件については、個別に検討していくことになる。

多くの人が、スポーツや音楽から感動を得られる場所、それを身をもって体験できる場所を作ることが大切だと思います。それがクオリティ・オブ・ライフを向上させ、生きる喜びに繋がる。そういうことを、多くの人に理解してもらえるように働きかけていきたいですね。

ECSCA（エクサ）の強み

ボールゲーム9競技の日本の最高峰12リーグに関する競技力の向上や運営の活性化を目指し活動する【一般社団法人 日本トップリーグ連携機構(JTL)】と、音楽を中心としたライブ・エンタテインメントを主催し、全国のプロモーターで構成される【一般社団法人 コンサートプロモーターズ協会(ACPC)】の組織網により、幅広い全国の地域・施設と連携した活動を可能にします。

・各団体の全国拠点一覧

Sports



日本トップリーグ連携機構

全国303加盟チーム

JTL 一般社団法人 日本トップリーグ連携機構 <http://japantopleague.jp>

参加トップリーグ

- ・一般社団法人 日本女子サッカーリーグ(なでしこリーグ)
- ・日本フットサルリーグ(Fリーグ)
- ・公益社団法人 日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)
- ・一般社団法人 日本バレーボールリーグ機構(Vリーグ)
- ・公益社団法人 ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ(Bリーグ)
- ・一般社団法人 バスケットボール女子日本リーグ(WJBL)
- ・日本ハンドボールリーグ機構(JHL)
- ・ジャパンラグビートップリーグ
- ・アジアリーグアイスホッケー実行委員会
- ・一般社団法人 ホッケー・ジャパンリーグ
- ・日本女子ソフトボールリーグ機構
- ・一般社団法人 日本社会人アメリカンフットボールリーグ(Xリーグ)

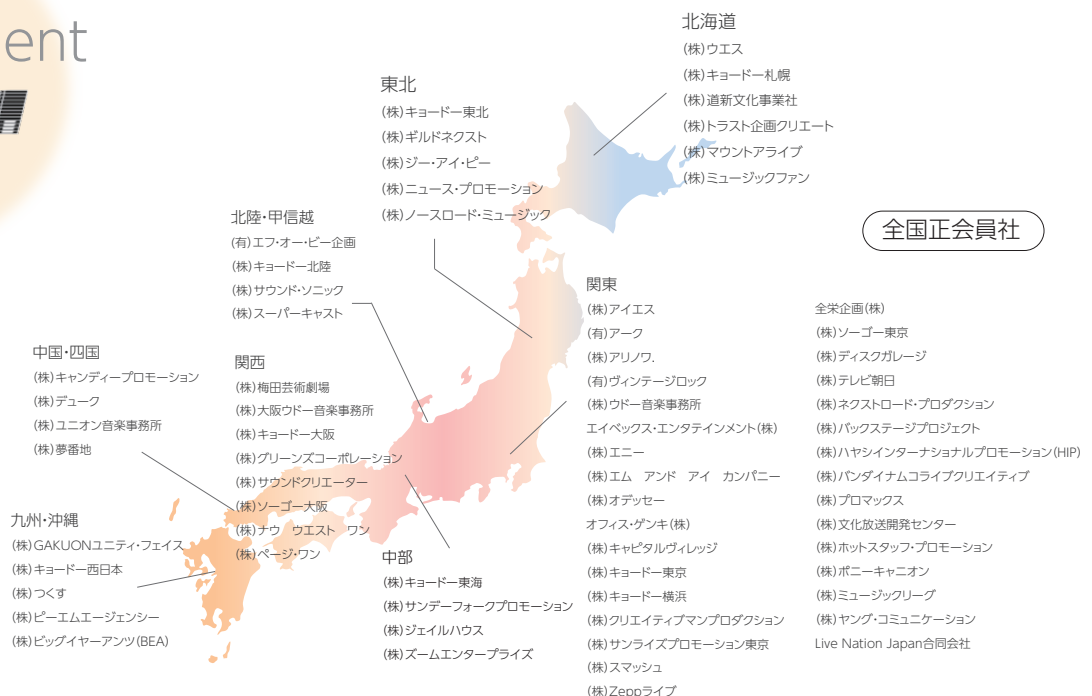
ACPC 一般社団法人 コンサートプロモーターズ協会 <http://www.acpc.or.jp>

Live Entertainment



コンサートプロモーターズ協会

正会員68社
賛助会員102社



ECSA（エクサ）の目指す未来

スタジアム・アリーナを起点に、
人々の豊かな暮らし、地方創生を描く

多くの人が集い、感動を体感・共有できる
スタジアム・アリーナは
人々の“豊かな暮らし”を実現し、未来へと繋ぐ存在です。

ECSA（エクサ）は
「スポーツ」と「ライブ・エンタテインメント」を通じて
地域に愛されるスタジアム・アリーナ創りへの貢献を目指す新しい組織です。

もっと多くの人々がエンタテインメントに熱狂し
夢と希望を感じる未来へ。

掲載可能な問い合わせ先 公式 HP <http://www.ecsa-japan.com>

情報解禁日時：2019年2月21日 正午 12:00

■本件に関する問い合わせ先

一般社団法人 Entertainment Committee for STADIUM・ARENA

一般社団法人 日本トップリーグ連携機構（JTL）

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-10-15 JFA ハウス 7F

理事・事務局長 田口禎則

info@japantopleague.jp

一般社団法人 コンサートプロモーターズ協会（ACPC）

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南 1-21-18 恵比寿南ビル

近藤勝彦

contact@acpc.or.jp